


県営上田野球場 防水部分改修工事

図面番号	図面名称	縮尺 (A1/A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1/A3)
A-01	特記仕様書 (1)	NON	A-11	スタンド現況平面図 (2)	1 : 100/1 : 200
A-02	特記仕様書 (2)	NON	A-12	スタンド現況平面図 (3)	1 : 100/1 : 200
A-03	配置図・案内図	1 : 800/1 : 1600	A-13	防水改修平面図 (1)	1 : 100/1 : 200
A-04	1階平面図	1 : 250/1 : 500	A-14	防水改修平面図 (2)	1 : 100/1 : 200
A-05	2階平面図	1 : 250/1 : 500	A-15	防水改修平面図 (3)	1 : 100/1 : 200
A-06	スタンド階平面図	1 : 250/1 : 500	A-16	詳細図	1 : 10/1 : 20
A-07	矩計図 (1)	1 : 50/1 : 100	A-17	概略工事工程表 (参考)	NON
A-08	矩計図 (2)	1 : 50/1 : 100			
A-09	矩計図 (3)	1 : 50/1 : 100			
A-10	スタンド現況平面図 (1)	1 : 100/1 : 200			

長野県観光スポーツ部
株式会社 KRC

県営上田野球場 防水部分 改修工事

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

上田市大字下之条

2. 敷地面積 (㎡)

3. 工事種目

建物別	種別	構造	階数	梁間 (m)	桁行 (m)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
野球場	改修	一部改修	2 F			4349.83㎡	4061.54㎡

4. 工事内容

・スタンドの防水部分改修

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事種目			
工事項目			
2 仮設工事	○		
3 防水改修工事	○		
4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁			
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁			
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁			
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁			
5 建具改修工事			
6 内装改修工事			
7 塗装改修工事			
8 耐震改修工事			
9 環境配慮改修工事			

II. 管理技術者等

設計事務所名 株式会社 KRC	管理技術者 渡利 真二
主任担当技術者	担当技術者
意匠担当 株式会社 KRC 窪田石英	
構造担当	
積算担当 株式会社 KRC 窪田石英	
意匠担当	
意匠担当	

III. 建築改修工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○をつけたものを適用する。
○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）
○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「標準仕様書」という。）
○建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という。）
○建築物解体工事共通仕様書（最新版）
・敷地調査共通仕様書（最新版）
・建築構造設計基準（最新版）
○工事写真の撮り方 建築編（最新版）
・公共建築木造工事標準仕様書（最新版）
○建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）
○長野県建設リサイクル推進指針

国土交通省大臣官房官庁営繕部調査課・土地・建設産業局建設業課
長野県建設部

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ 〃 ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ 〃 ）図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
・印のみの場合は適用しない。
3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5) ㊦印は、「図等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章 項 目 特 記 事 項

1 各章共通事項

① 適用区分

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○ 風圧力
風速 (Vo= 30 m/s)
地表面粗度区分 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ)
・ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ()

※ 適用する 適用しない [1. 4]

3. 電気保安技術者

※ 適用する 適用しない [1. 3]

④ 施工条件明示事項

○「現場説明事項・施工条件明示事項」による [1. 3. 5]

⑤ 環境への配慮

(1. 4. 1) [1. 4. 1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、
・ 塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
(1. 4. 2) [1. 4. 2]

⑥ 材料の品質等

(1. 4. 2) [1. 4. 2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーテング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鉄製鉄ふた

7. 石綿含有建材の調査

[1. 5. 1]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料 ()
・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	定量分析方法 または (JIS A 1481-5)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)
	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所
・ 示による ・

8. 施工数量調査

調査範囲及び調査方法 ※ 示 ・ [1. 6. 2]
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 示 ・ [1. 6. 3]

9. 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑩ 技能士

※ 適用する（一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。） [1. 7. 2]
・ 適用しない

適用工事種目	技能検定作業
防水改修工事	・フタ付防水工事作業 ○フタ付系遮断防水工事作業 ・フタ付系遮断防水工事作業 ・合成ゴム系防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○フタ付防水工事作業 ・改質フタ付シート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	・フローリング系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業 ・壁張作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業 ・型枠施工作業 ・とび作業
コンクリート打ち放し改修工事	・コンクリート打ち放し作業 ・エポキシ樹脂工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

11. 化学物質の濃度測定

(1. 5. 9) [1. 7. 9]

測定方法 ※ バッブ法（拡散法） ・ アクティブ法（吸引法）
検査機関
※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者

測定物質
※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン
※ パラジクロロベンゼン ※ スチレン

測定箇所（室）

計 箇所

※ 試料採取にあたっては、監督員又は監督員が指定する者が立会いの下に行う。
化学物質の室内汚染濃度指針値

ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	パラジクロロベンゼン	スチレン	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

12. 埋設配管・配線および鉄筋調査

あと施工アンカー工事
6章および8章による
コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う
範囲
※ 図示による
・放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
5) 躯体の墨出しは、裏面でズレないように措置を講ずる。
撮影枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ cm

⑨ 完成図等

※ 作図等 (1. 7. 1～1. 7. 3) [表1. 7. 1]
※ 完成図 (※ 設計図書で示したもの全て ・ 標仕表1. 7. 2)による
・ 監督員の指示による
作成方法 ・ 原図 用紙 (・ トレーシングペーパーA1 ・)
作図方法 (※ CADで作成し出力 ・)
※ 製本 (原図の白焼き、見開きA1版 (1部) ・ A3版 (2部))
※ CADデータ (※ CD-R (2部) ・)
※ 保全に関する資料 (2部)

④ 完成写真

下記のものを監督職員へ提出する。原版は撮影業者の保管とする。

撮影部位及び箇所数	分類・規格	提出部数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 :()箇所	・電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	※ 2部	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったものの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる外部 :()箇所、内部:()箇所	・カラー印刷紙キャビネ版アルバム綴じ			
外部:(10)箇所、内部:()箇所 程度	・電子データ (CD-R) (JPEGフルカラー)	※ 2部	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	

アルバムは、黒表紙金文字入り、サイズはH320×D300程度とする。

2 仮設工事

1. 騒音・粉じん等の対策

② 足場等

② 騒音パネル
・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・ 示による ・ [2. 1. 3]
[2. 2. 1] [表 2. 2. 1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
・設置する
(設置範囲 ・ 工に必要な範囲 ・ 示による ・)
・設置しない
防護シート
・設置する
(設置範囲 ・ 工に必要な範囲 ・ 示による ・)
・設置しない

3. 既存部分の養生

2. 3. 1]

養生方法等
・既存部分
養生方法 (※ビニルシート、合板等 ・ 合板+防災シート)
・既存家具、既存設備等
養生方法 (※ビニルシート等 ・)
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法 (・ ビニルシート等 ・)
保管場所 (・ 示による ・)
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・ 示による ※工事に支障となる範囲
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

4. 仮設間仕切り

[2. 3. 2] [表 2. 3. 1]

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・ 示による ・ 既存防火扉利用 ・
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ (厚さmm)	塗装	充填材
・A種	・せっこうボード種類 (・) 厚さ (・ mm ※9.5mm)	・無し ・片面 ・	グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上 ・
・B種	・合板 材種 (・) 厚さ (・ mm ※9mm) ・		
※C種	防災シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	グラスウール貼り
・木製 ・	※合板張り程度 ・	・無し ・片面 ・	・ 所 ・ 示による	・ 有り ・ 無し

グラスウール貼り ※グラスウール32k (厚50mm以上)

5. 監督員事務所

[2. 4. 1]

・ 設ける ※ 設けない
規模 ※ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ () ㎡程度

⑥ 工事用水

[2. 4. 1]

⑦ 工事用電力

[2. 4. 1]

3 防水改修工事

1. 施工数量調査

[1. 6. 2. 3]

調査範囲
・ 示による ・
調査方法
・ 示による ・
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 示による ・
調査報告書 (提出部数 ・ 2部 ・)

2. 降雨等に対する養生方法 (とい共)

[3. 1. 3]

※改修標準仕様書3. 1. 3 (5) (ア)～(イ)による

3. 既存防水の処理

[3. 1. 4] [3. 2. 3. 4. 6]

既存保護層の撤去
・ 行う (範囲 ・ 示による ・) ・ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う (範囲 ・ 示による ・) ・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う (・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X) ・ 行わない

④ 既存下地の処理

[3. 2. 6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
○ 示による ・
POS工法及びPOSⅡ工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3. 2. 6 (4) (イ) ①～③による

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員との協議による ・ 示による

5. アスファルト防水

[3. 3. 2～5]

屋根保護防水 (既存)
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 [a]	絶縁用シート
・P2A	・A-1			※ポリイソシアヌレート厚さ0.15mm以上又はフットンコア70g/㎡程度 ・
	・A-2			
	・A-3			
・P1B	・B-1			
	・B-2			
・P2AⅠ	・AⅠ-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法ポリイソシアヌレート断熱材3種bA (λ/μ層付き)	※フットンコア70g/㎡程度 ・
	・AⅠ-2			
	・AⅠ-3			
・P1BⅠ	・BⅠ-1		(厚さ) (mm) ・	
	・BⅠ-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3. 3. 3から表3. 3. 9)による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ (・)mm以上

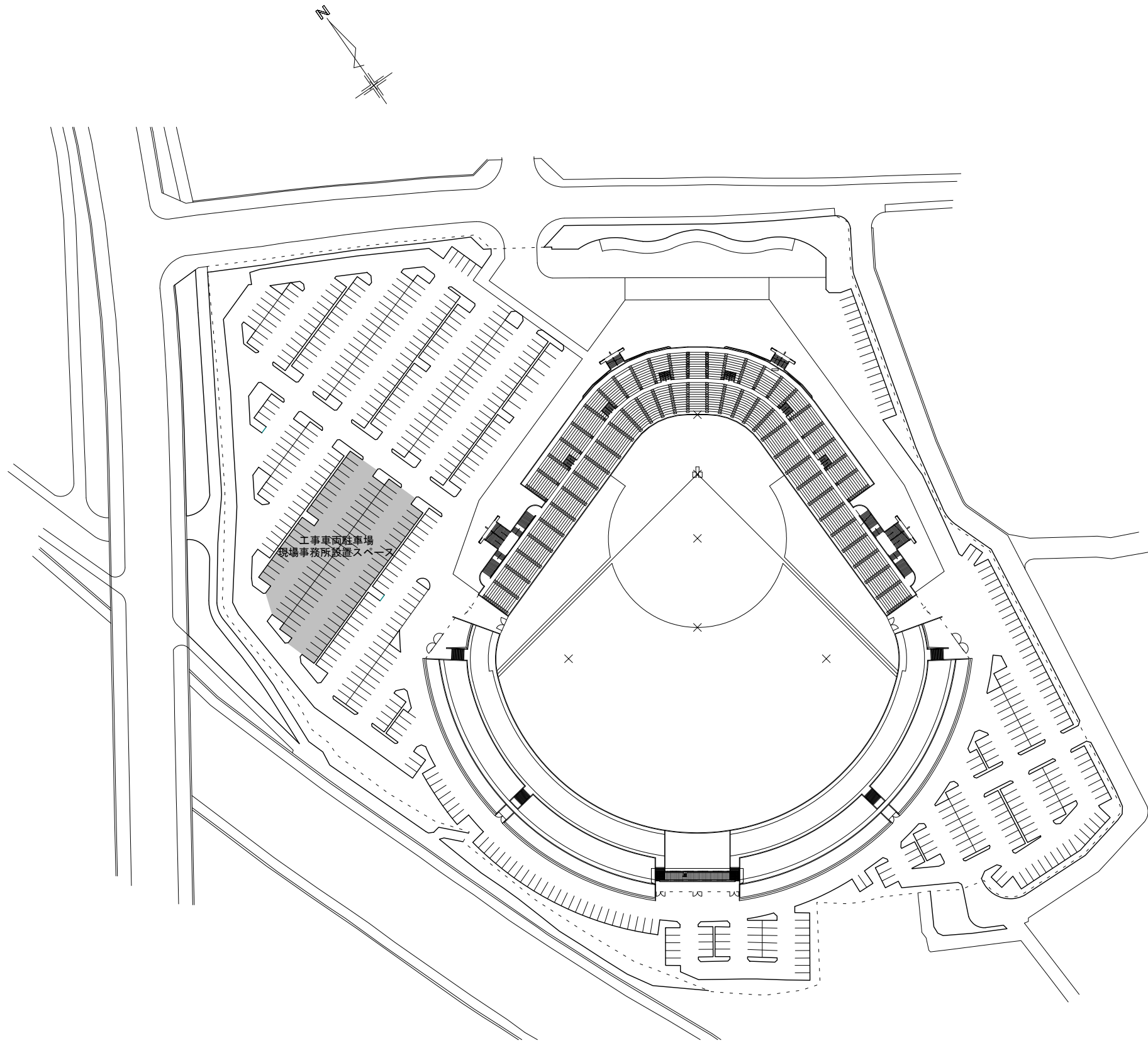
県営上田野球場 防水部分改修工事

特記仕様書 (1)

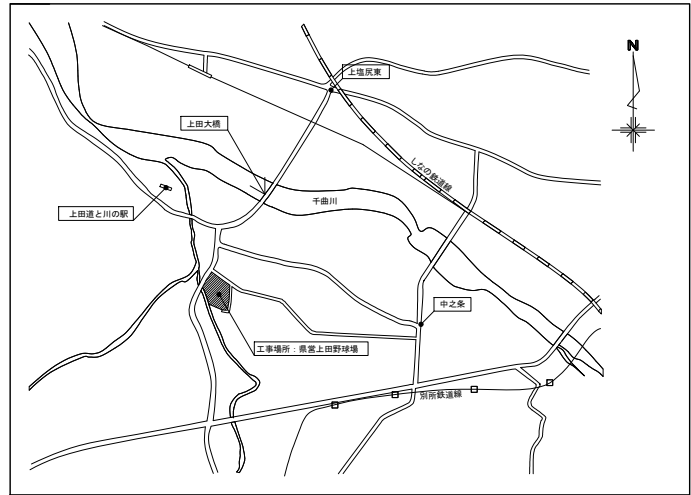
株式会社 KRC
一級建築士事務所 長野県知事登録 H第75251号
一級建築士 第293052号 渡利 真二

A-01

[illegible]



配置図 S=1:800



案内図

工 事 概 要

- (1) 工事の内容
- ・スタンド：P C版間部分の防水改修工事
 - ・スタンド～コンコース間階段：床の防水改修工事

施工条件明示事項

- (1) 施設利用に関する事項
- ・公園内での工事となるため、作業工程、作業時間等、監督員および施設管理者と調整を図り工事を行うこと。
 - ・公園内のイベント開催等、監督員および施設管理者から要請があった場合は調整を図り、イベント等の開催に支障が出ないように協力を行うこと。
- (2) 仮設・工事車両に関する事項
- ・公園敷地内への専用の工事車両侵入路が確保できないため、大型車両の出入り時、資材等の搬出入時等、交通誘導員又は係員の配置を行う等の安全対策を行うこと。
 - また、資材の搬出入時は、カラーコーン等で作業エリアを区画すること。
 - ・工事関係車両の駐車場および現場事務所は、公園内の指定場所を使用すること。なお、別途発注工事でも使用するため、監督員と協議により使用する範囲を決定すること。
 - また、必要に応じてバリケード等で使用範囲を区画すること。
 - ・スタンドへの資材等の搬出入経路は、階段とするが施設管理者と調整を図ること。
- (3) 関連工事
- ・本工事のほかに、野球場内で工事が予定されているため、別途発注工事の工事受注者と相互に調整をい行い工事を行うこと。

工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事

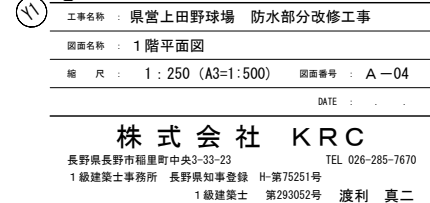
図面名称 : 配置図・案内図

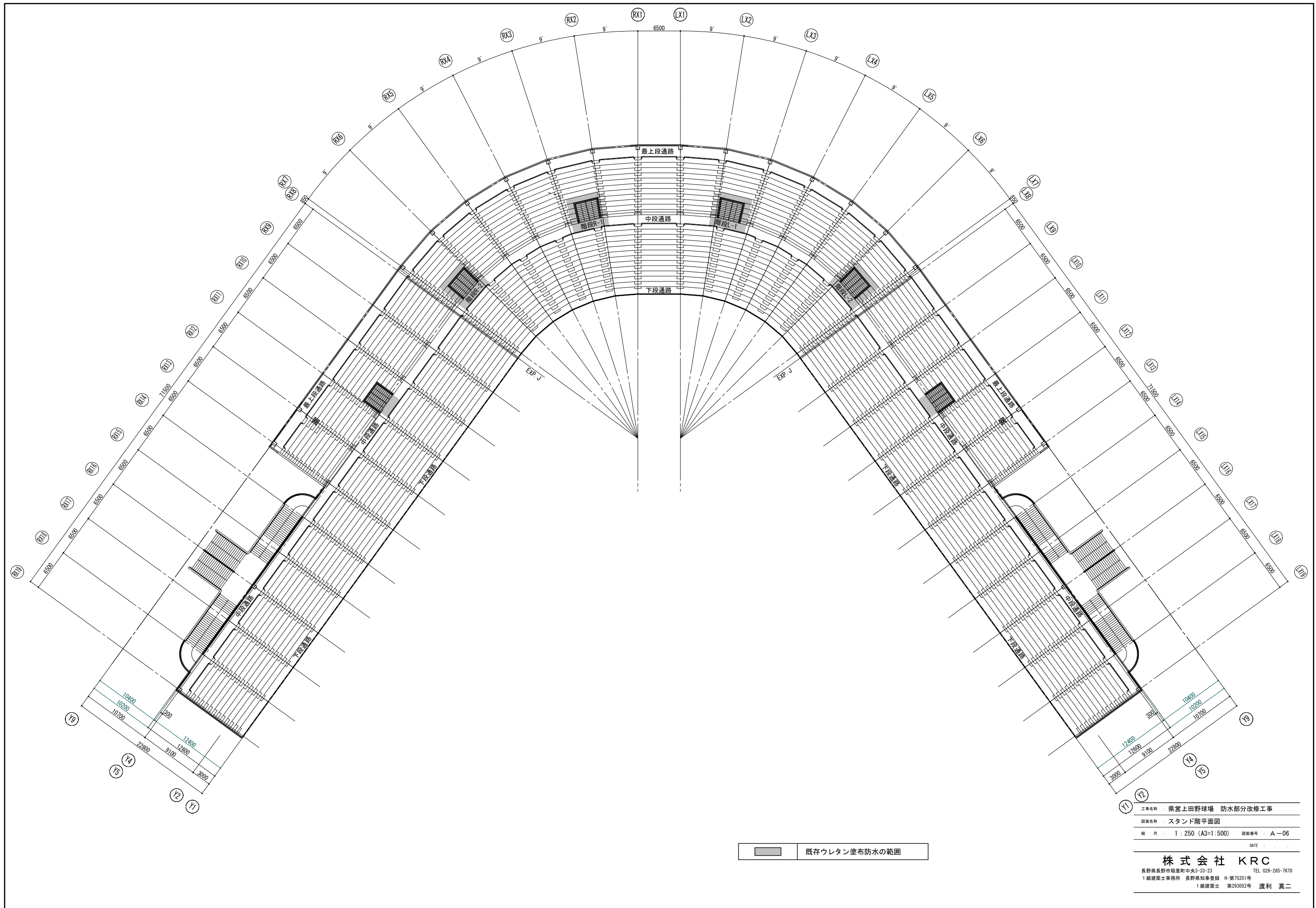
縮 尺 : 1 : 800 (A3=1:1600) 図面番号 : A-03

DATE : . . .

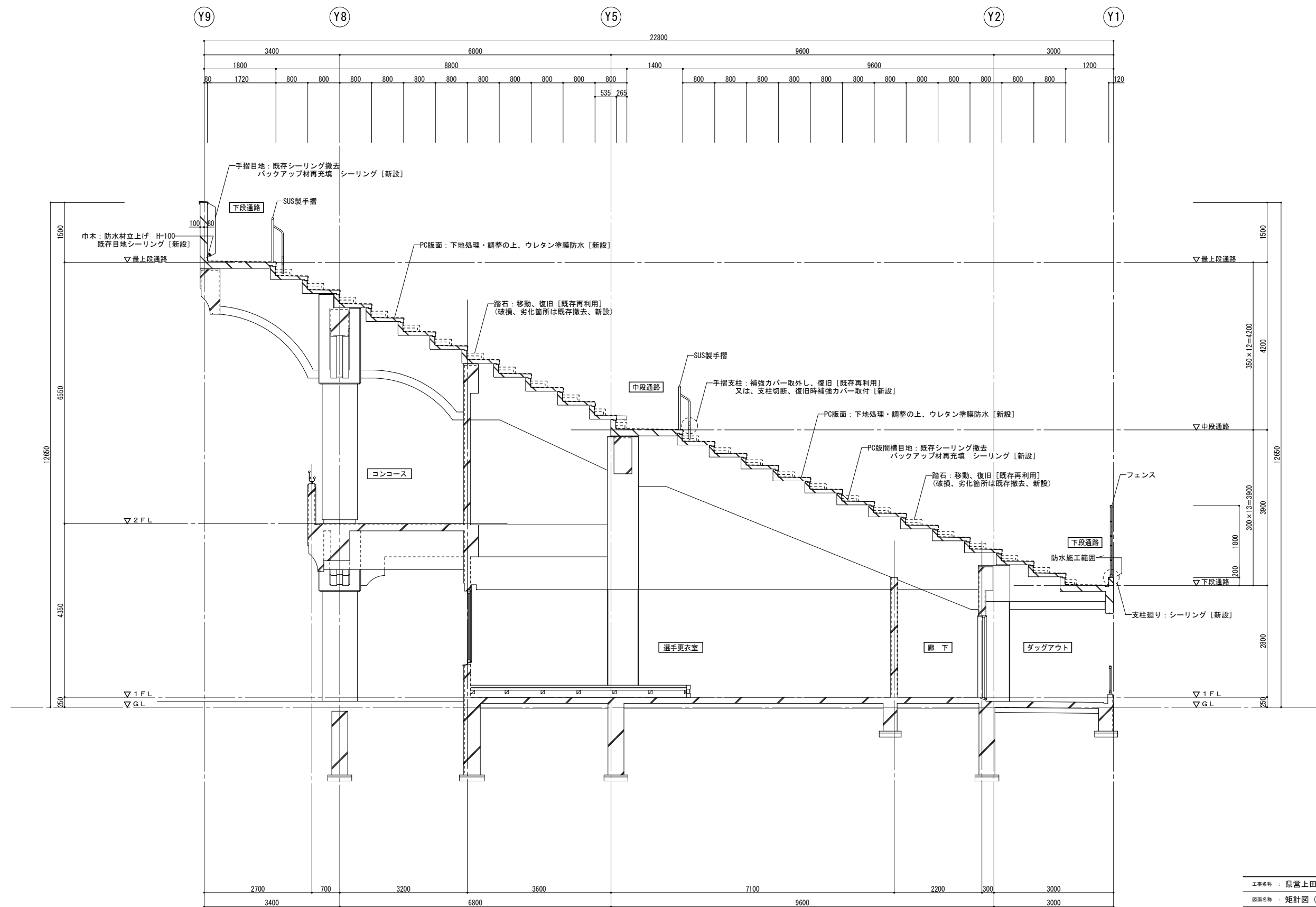
株 式 会 社 K R C

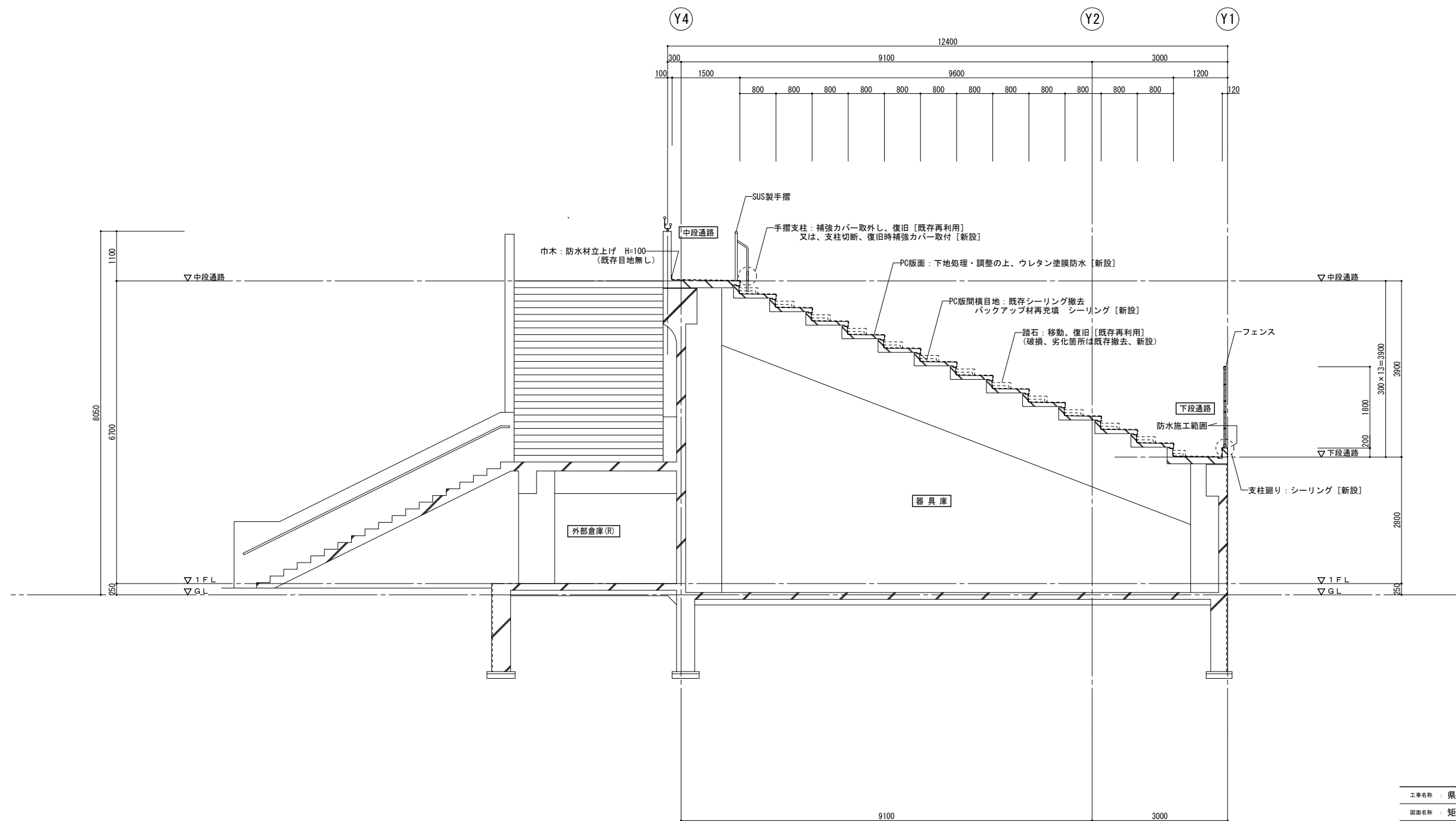
長野県長野市稲屋町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二

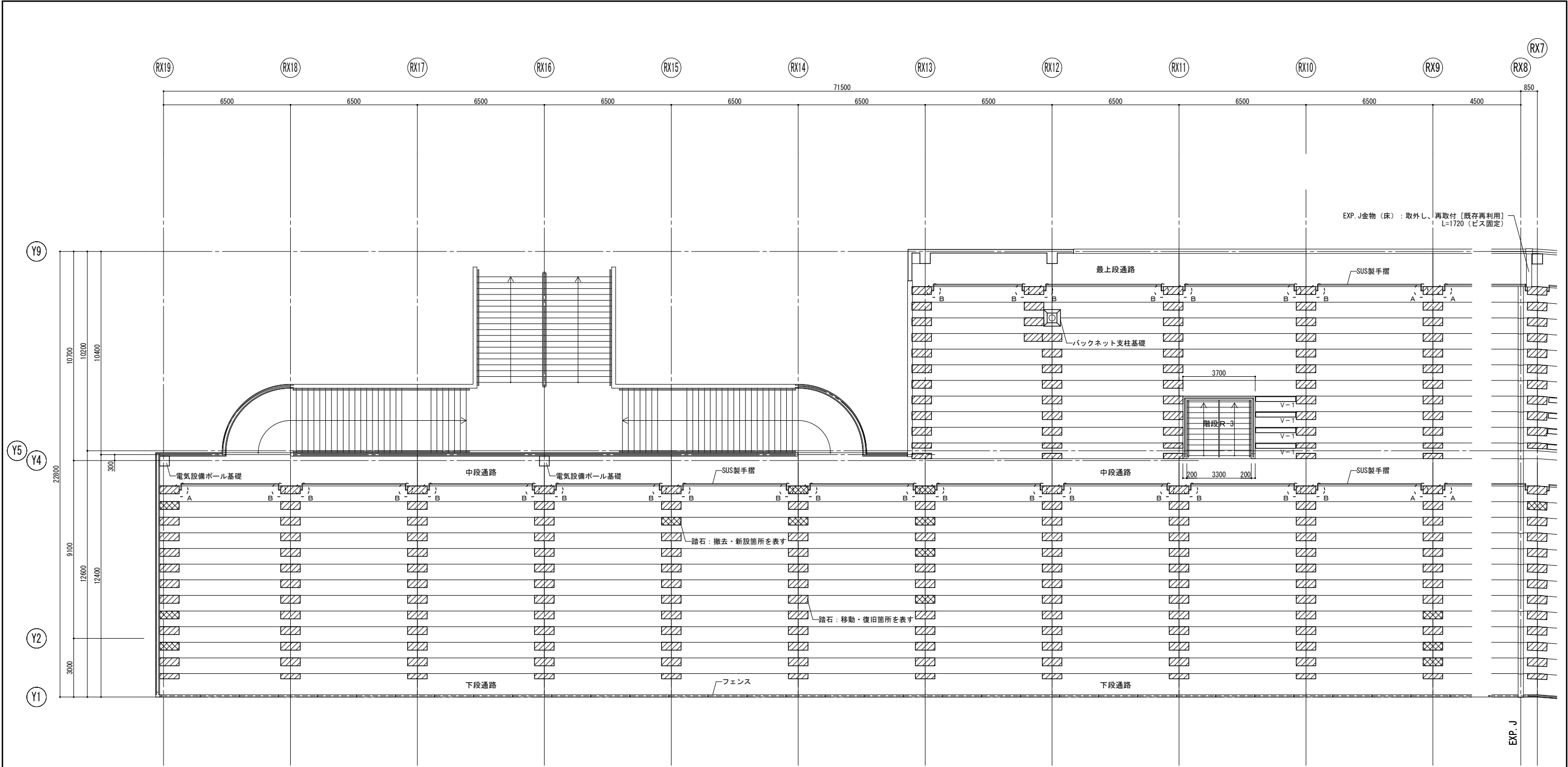




工事名称 : 県営上田野球場 防水部分改修工事
図面名称 : スタンド階平面図
縮 尺 : 1 : 250 (A3=1:500) 図面番号 : A-06
DATE : . . .
株 式 会 社 KRC
長野県長野市稲屋町中央3-33-23 TEL 026-285-7670
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号
1級建築士 第293052号 渡利 真二









■PC踏石 凡例		【か所】
	P C踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144)	262
	P C踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144) 手摺付	22
	P C踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169)	213
	P C踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169) 手摺付	21
	P C踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H136)	25
	P C踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H167)	44
	P C踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144)	24
	P C踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144) 手摺付	5
	P C踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169)	5
	P C踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169) 手摺付	3
	P C踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H136)	2
	P C踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H167)	2

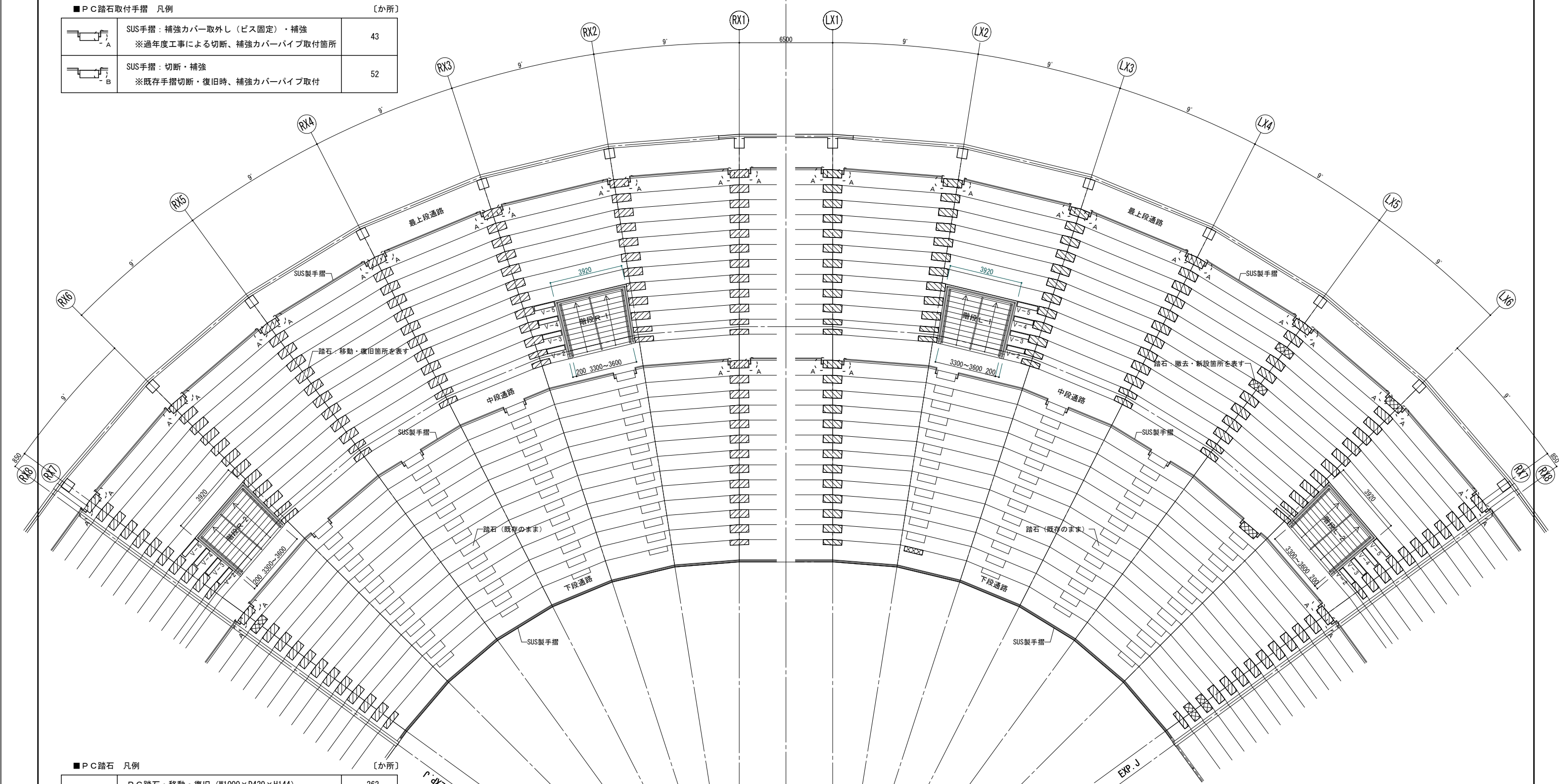
※新設するP C踏石の形状は、現地調査の上で決定すること。


■PC踏石取付手摺 凡例		【か所】
	SUS手摺：補強カバー取外し（ビス固定）・補強 ※過年度工事による切断、補強カバーパイプ取付箇所	43
	SUS手摺：切断・補強 ※既存手摺切断・復旧時、補強カバーパイプ取付	52

■ベンチ席 取外し、復旧箇所リスト		
V-1	L=2050	8 台
V-2	L= 986	4 台
V-3	L=1024	4 台
V-4	L=1061	4 台
V-5	L=1099	4 台
総延長：33.08m		

- 工事内容（１）
- ・防水施工に支障となるベンチ席（図示）の座面を取外し（再利用・スタンド仮置き）、防水施工後に復旧とする。
 - ・段床の踏石を移動（再利用・スタンドに仮置き）、防水施工後に復旧とする。
 - ・破損、劣化が著しい踏石（図示）は撤去（処分）、新規踏石（一部SUS手摺）に交換。
 - ・手摺が取付られている踏石は以下の処理を行う。
 - 1) 支柱が切断され、補強カバーが取付られている踏石
 - ・補強カバー（ビス止め固定）を取外し（再利用）、手摺本体と分離。
 - ・防水施工後、復旧（段差調整）し、補強カバー再取付接続。
 - 2) 支柱が切断されていない踏石
 - ・手摺支柱を切断し、手摺本体と踏石を分離（詳細図参照）。
 - ・防水施工後、復旧（段差調整）し、補強カバー（新設）取付接続。（詳細図参照）
 - ・コンクリート壁面に目地切（防水材端部納めシーリング用）を行う。
【施工箇所】RX19/LX19・Y1-4間 手摺壁、RX13/LX13・Y4-9間 手摺壁
階段外周側手摺壁、ポール・支柱基礎廻り

■ P C 踏石取付手摺 凡例		〔カ所〕
	SUS手摺：補強カバー取外し（ビス固定）・補強 ※過年度工事による切断、補強カバーパイプ取付箇所	43
	SUS手摺：切断・補強 ※既存手摺切断・復旧時、補強カバーパイプ取付	52



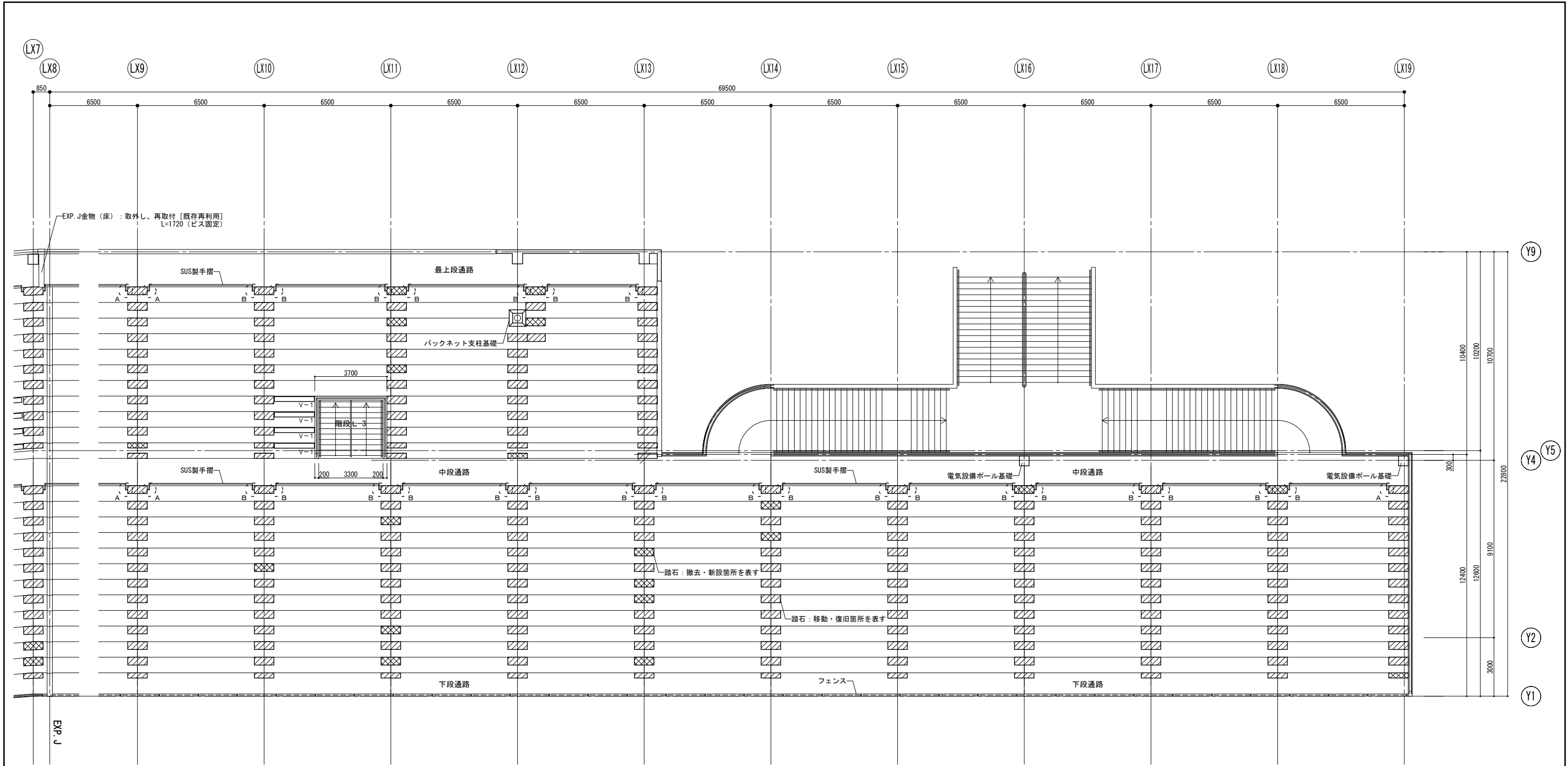
■ P 踏石 凡例		【カ所】
	P 踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144)	262
	P 踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144) 手摺付	22
	P 踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169)	213
	P 踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169) 手摺付	21
	P 踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H136)	25
	P 踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H167)	44
	P 踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144)	24
	P 踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144) 手摺付	5
	P 踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169)	5
	P 踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169) 手摺付	3
	P 踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H136)	2
	P 踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H167)	2

※新設するＰＣ踏石の形状は、現地調査の上で決定すること。

■ベンチ席 取外し、復旧箇所リスト		
V-1	L=2050	8 台
V-2	L= 986	4 台
V-3	L=1024	4 台
V-4	L=1061	4 台
V-5	L=1099	4 台
総延長：33.08m		

- ・工事内容 (1)
 - ・防水施工に支障となるベンチ席 (図示) の座面を取外し (再利用・スタンド仮置き)、防水施工後に復旧とする。
 - ・段床の踏石を移動 (再利用・スタンドに仮置き)、防水施工後に復旧とする。
 - ・破損、劣化が著しい踏石 (図示) は撤去 (処分)、新規踏石 (一部SUS手摺) に交換。
 - ・手摺が取付られている踏石は以下の処理を行う。
 - 1) 支柱が切断され、補強カバーが取付られている踏石
 - ・補強カバー (ビス止め固定) を取外し (再利用)、手摺本体と分離。
 - ・防水施工後、復旧 (段差調整) し、補強カバー再取付接続。
 - 2) 支柱が切断されていない踏石
 - ・手摺支柱を切断し、手摺本体と踏石を分離 (詳細図参照)。
 - ・防水施工後、復旧 (段差調整) し、補強カバー (新設) 取付接続。(詳細図参照)
 - ・コンクリート壁面に目地切 (防水材端部納めシーリング用) を行う。
 - 【施工箇所】RX19/LX19・Y1-4間 手摺壁、RX13/LX13・Y4-9間 手摺壁

工事名称： 県営上田野球場 防水部分改修工事
 図面名称： スタンド現況平面図（2）
 縮 尺： 1：100（A3=1/200） 図面番号： A-11
 DATE：



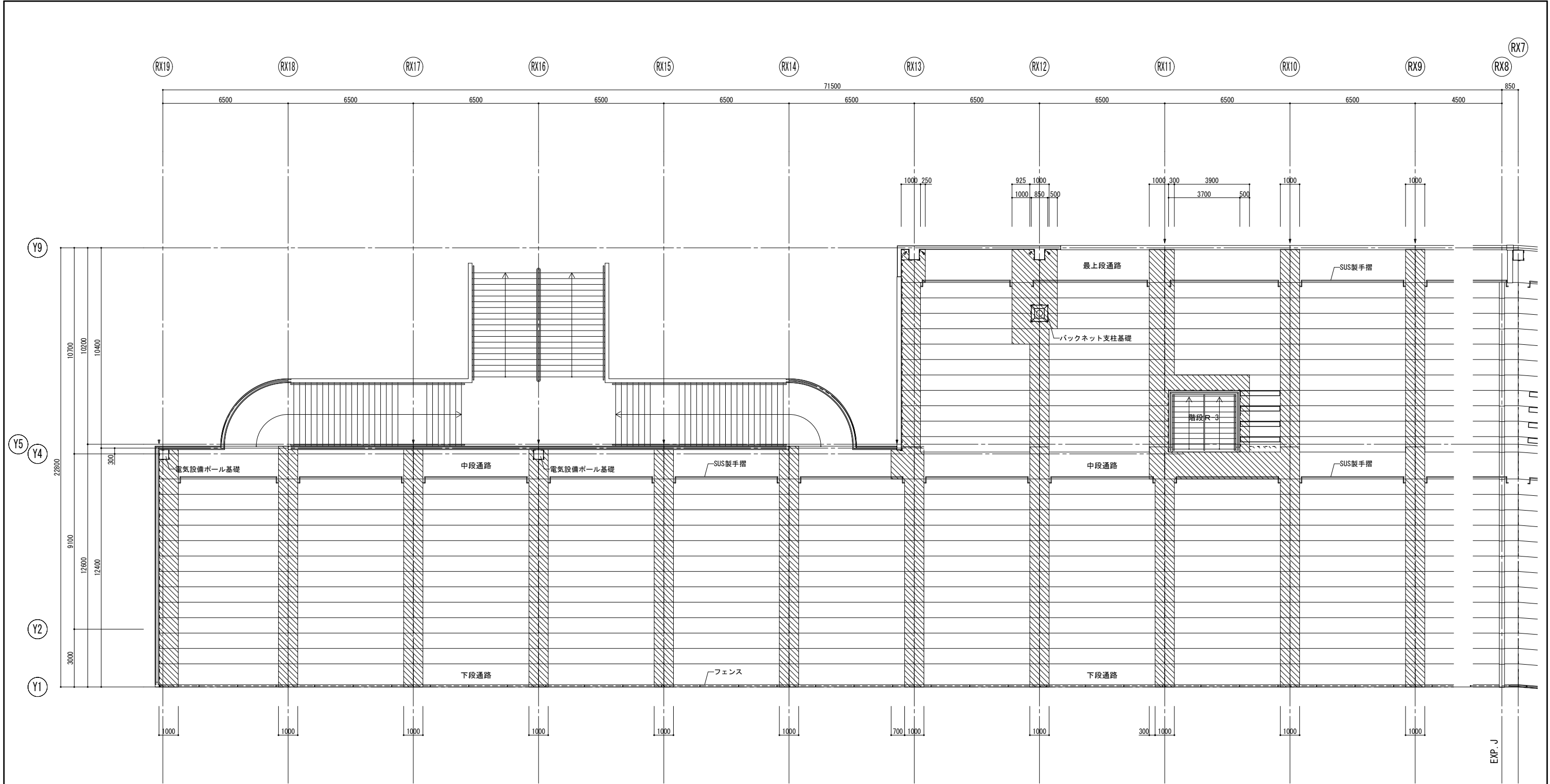
■PC踏石 凡例		【か所】
	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144)	262
	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H144) 手摺付	22
	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169)	213
	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D420×H169) 手摺付	21
	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H136)	25
	PC踏石：移動・復旧 (W1000×D285×H167)	44
	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144)	24
	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H144) 手摺付	5
	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169)	5
	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D420×H169) 手摺付	3
	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H136)	2
	PC踏石：撤去・新設 (W1000×D285×H167)	2

※新設するPC踏石の形状は、現地調査の上で決定すること。

■PC踏石取付手摺 凡例		【か所】
	SUS手摺：補強カバー取外し（ビス固定）・補強 ※過年度工事による切断、補強カバーパイプ取付箇所	43
	SUS手摺：切断・補強 ※既存手摺切断・復旧時、補強カバーパイプ取付	52

■ベンチ席 取外し、復旧箇所リスト		
V-1	L=2050	8 台
V-2	L= 986	4 台
V-3	L=1024	4 台
V-4	L=1061	4 台
V-5	L=1099	4 台
総延長：33.08m		

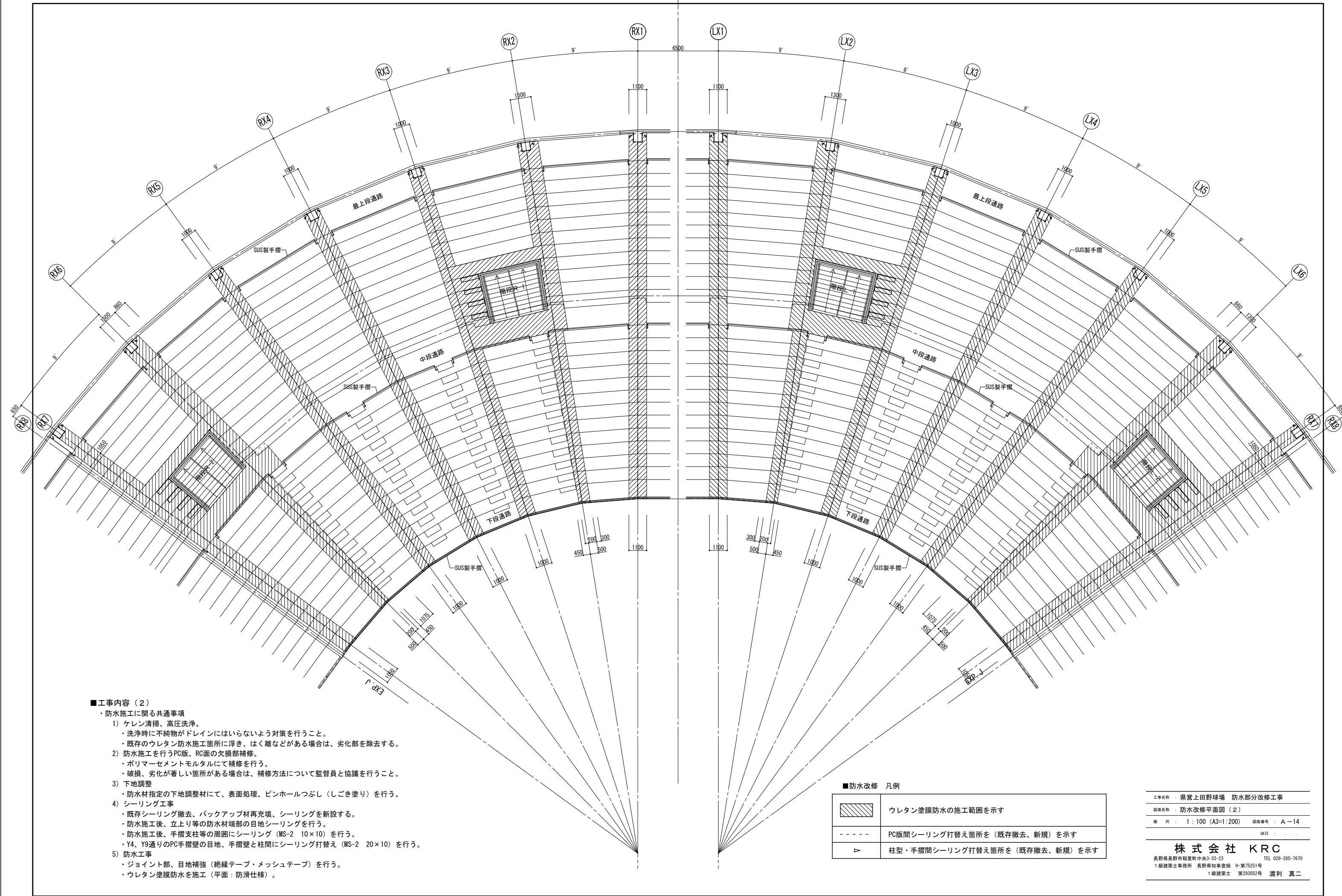
- 工事内容（１）
- ・防水施工に支障となるベンチ席（図示）の座面を取外し（再利用・スタンド仮置き）、防水施工後に復旧とする。
 - ・段床の踏石を移動（再利用・スタンドに仮置き）、防水施工後に復旧とする。
 - ・破損、劣化が著しい踏石（図示）は撤去（処分）、新規踏石（一部SUS手摺）に交換。
 - ・手摺が取付られている踏石は以下の処理を行う。
 - 1) 支柱が切断され、補強カバーが取付られている踏石
 - ・補強カバー（ビス止め固定）を取外し（再利用）、手摺本体と分離。
 - ・防水施工後、復旧（段差調整）し、補強カバー再取付接続。
 - 2) 支柱が切断されていない踏石
 - ・手摺支柱を切断し、手摺本体と踏石を分離（詳細図参照）。
 - ・防水施工後、復旧（段差調整）し、補強カバー（新設）取付接続。（詳細図参照）
 - ・コンクリート壁面に目地切（防水材端部納めシーリング用）を行う。
【施工箇所】RX19/LX19・Y1-4間 手摺壁、RX13/LX13・Y4-9間 手摺壁
階段外周側手摺壁、ポール・支柱基礎廻り



■防水改修 凡例	
	ウレタン塗膜防水の施工範囲を示す
	PC版間シーリング打替え箇所を（既存撤去、新規）を示す
	柱型・手摺間シーリング打替え箇所を（既存撤去、新規）を示す

- 工事内容（２）
- ・防水施工に関する共通事項
 - 1) ケレン清掃、高圧洗浄。
 - ・洗浄時に不純物がドレインにはいらないよう対策を行うこと。
 - ・既存のウレタン防水施工箇所に浮き、はく離などがある場合は、劣化部を除去する。
 - 2) 防水施工を行うPC版、RC面の欠損部補修。
 - ・ポリマーセメントモルタルにて補修を行う。
 - ・破損、劣化が著しい箇所がある場合は、補修方法について監督員と協議を行うこと。
 - 3) 下地調整
 - ・防水材指定の下地調整材にて、表面処理、ピンホールつぶし（しごき塗り）を行う。
 - 4) シーリング工事
 - ・既存シーリング撤去、バックアップ材再充填、シーリングを新設する。
 - ・防水施工後、立上り等の防水材端部の目地シーリングを行う。
 - ・防水施工後、手摺支柱等の周囲にシーリング（MS-2 10×10）を行う。
 - ・Y4、Y9通りのPC手摺壁の目地、手摺壁と柱間にシーリング打替え（MS-2 20×10）を行う。
 - 5) 防水工事
 - ・ジョイント部、目地補強（絶縁テープ・メッシュテープ）を行う。
 - ・ウレタン塗膜防水を施工（平面：防滑仕様）。

工事名称： 県営上田野球場 防水部分改修工事	
図面名称： 防水改修平面図（１）	
縮 尺： 1：100（A3=1：200）	図面番号： A-13
DATE： . . .	
株 式 会 社 K R C	
長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670	
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号	
1級建築士 第293052号 渡利 真二	



■工事内容（2）

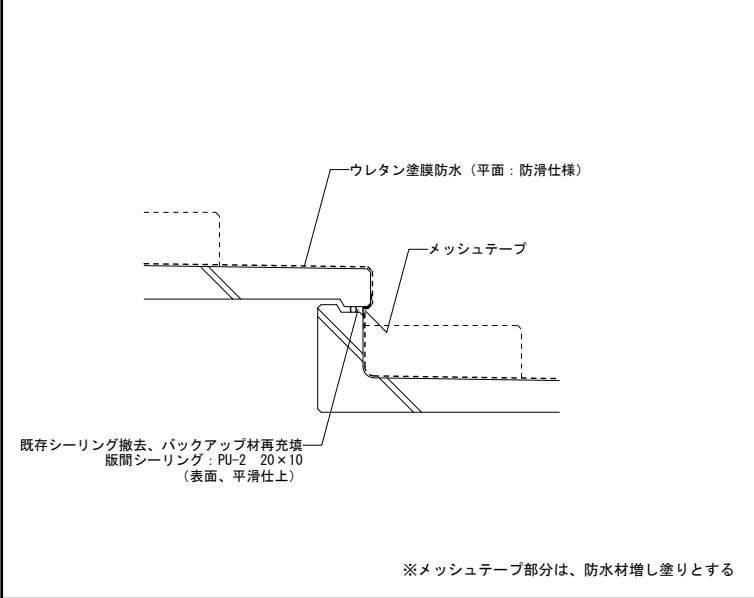
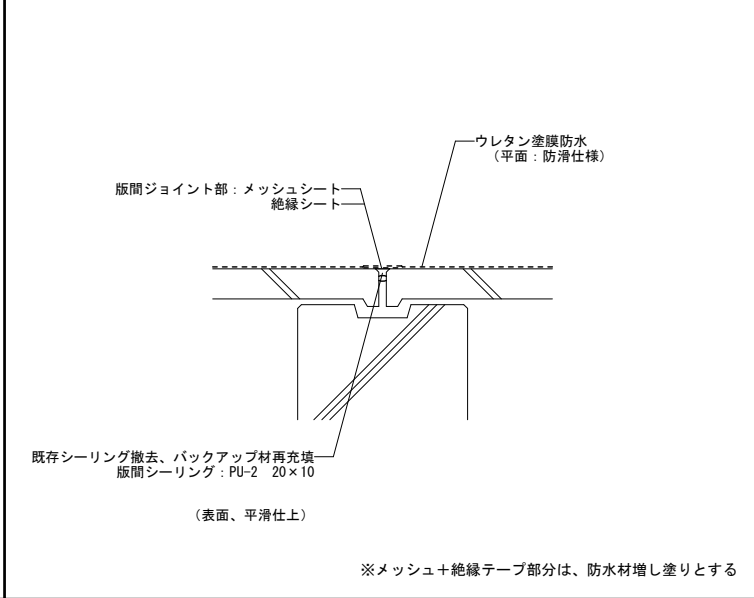
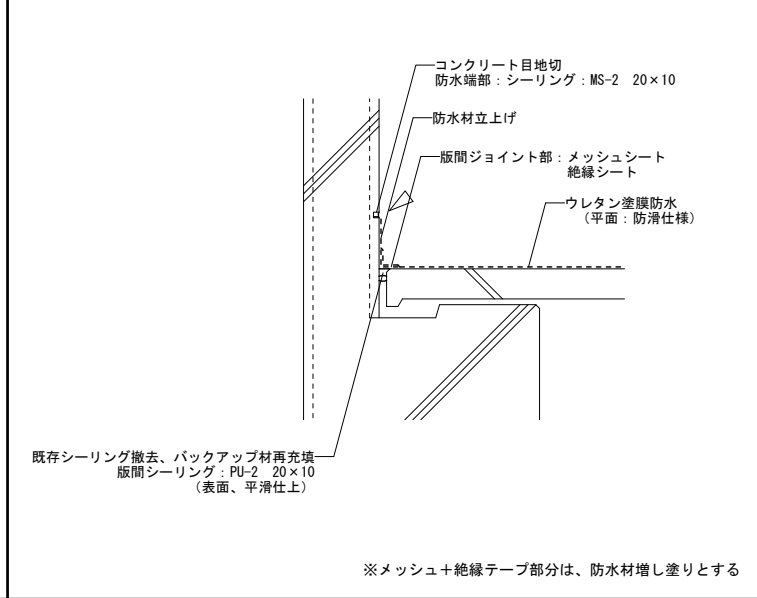
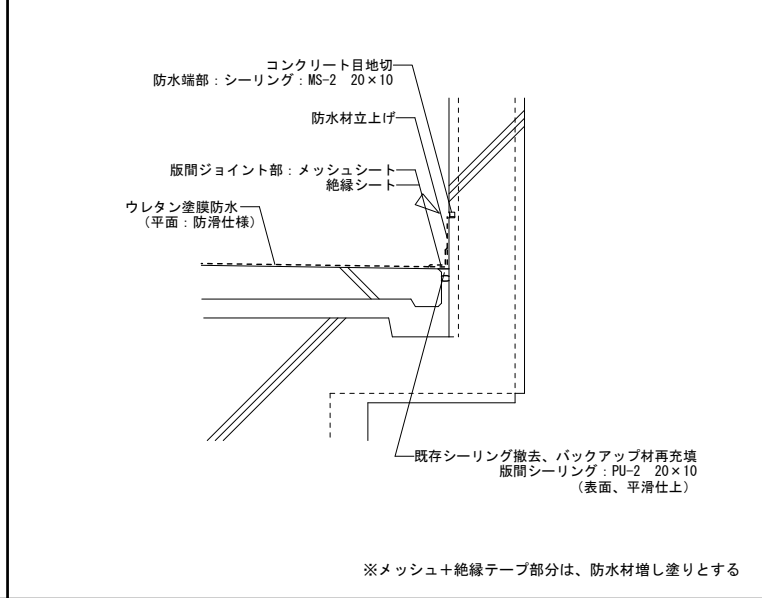
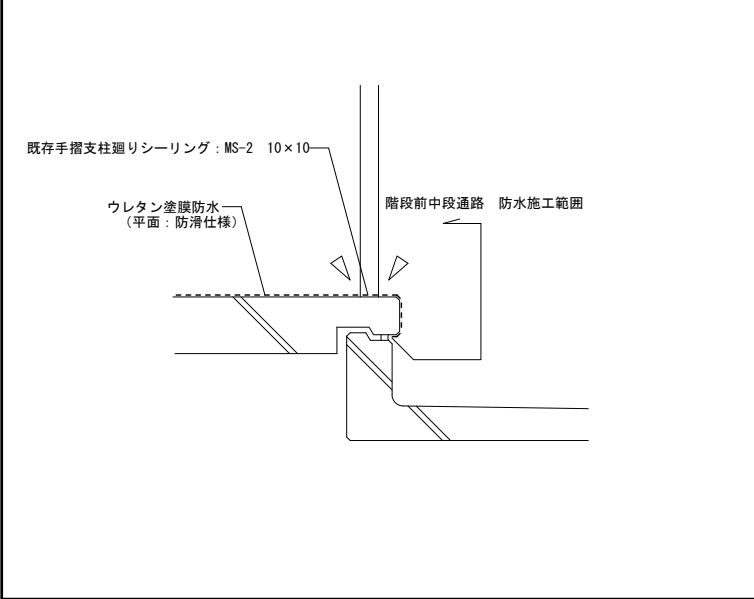
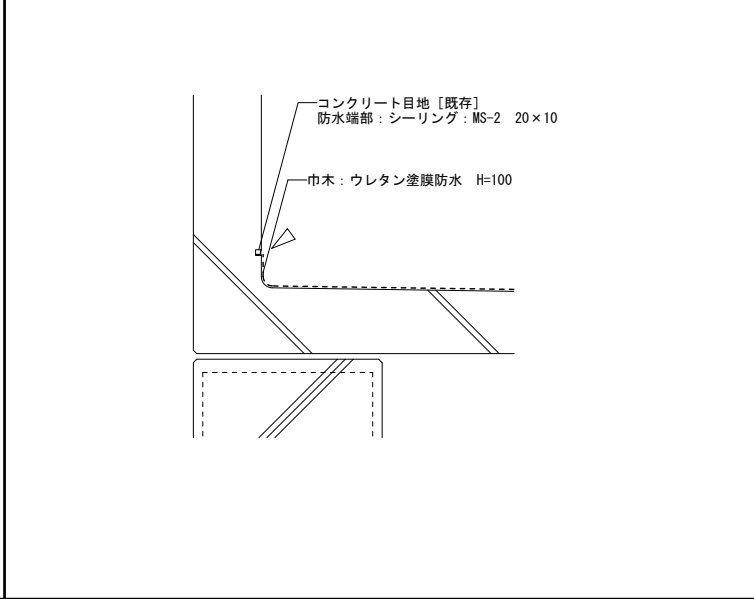
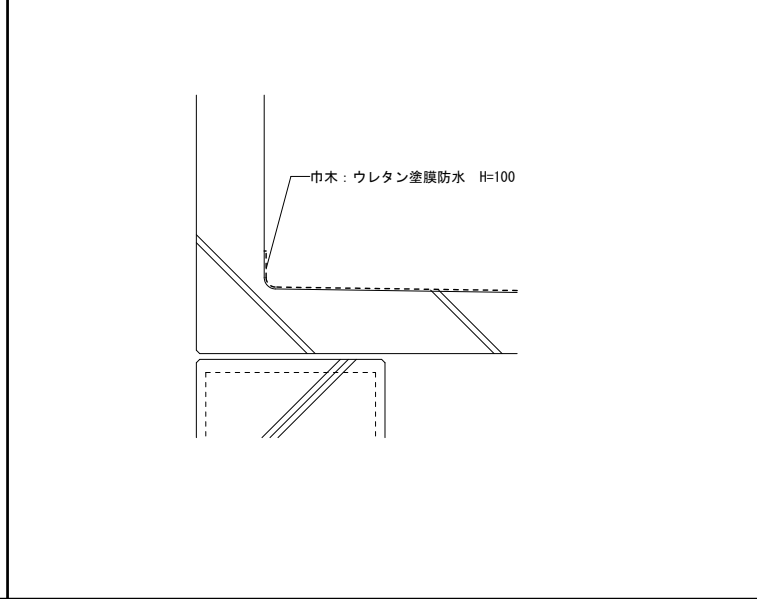
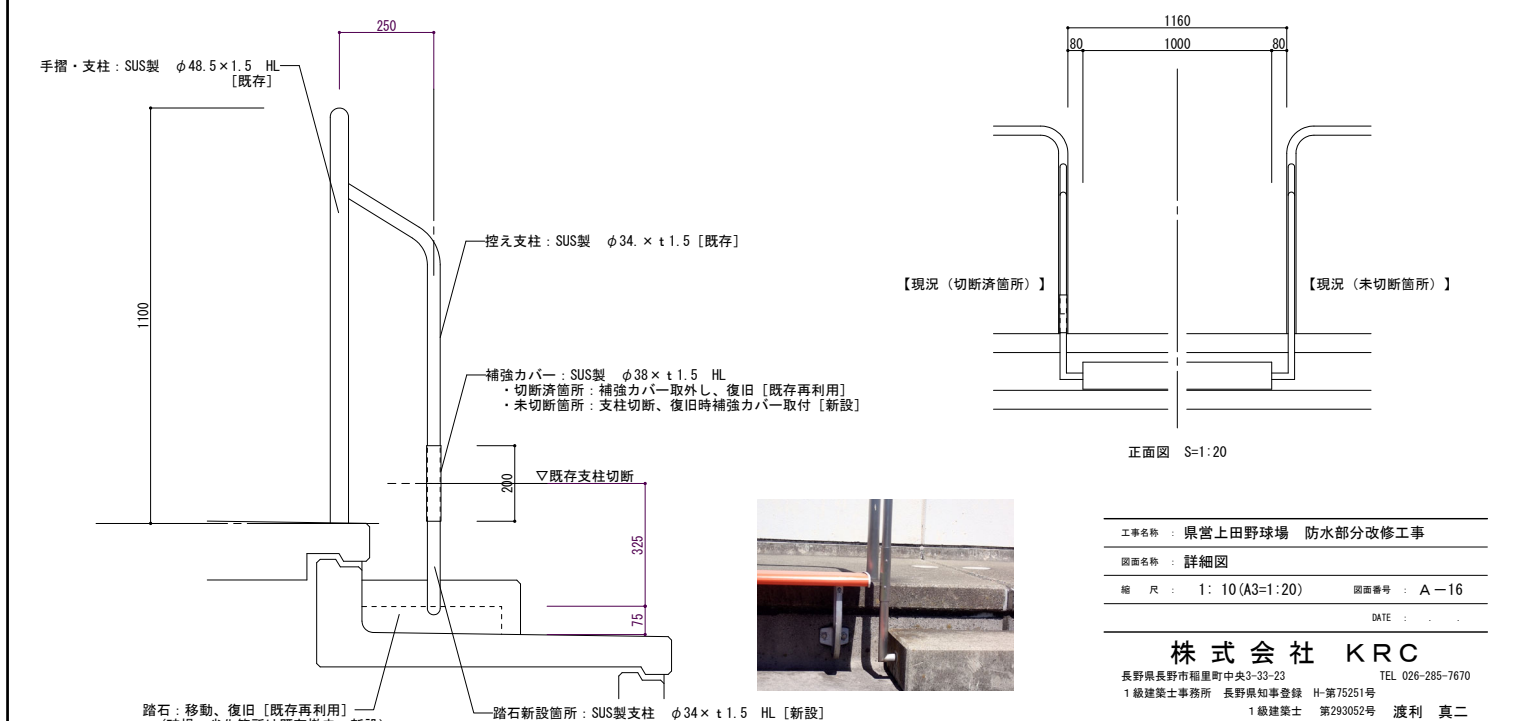
・防水施工に関する共通事項

- 1) ケレン清掃、高圧洗浄。
 - ・洗浄時に不純物がドレインにはいらないよう対策を行うこと。
 - ・既存のウレタン防水施工箇所に浮き、はく離などがある場合は、劣化部を除去する。
- 2) 防水施工を行うPC版、RC面の欠損部補修。
 - ・ポリマーセメントモルタルにて補修を行う。
 - ・破損、劣化が著しい箇所がある場合は、補修方法について監督員と協議を行うこと。
- 3) 下地調整
 - ・防水材指定の下地調整材にて、表面処理、ピンホールつぶし（しごき塗り）を行う。
- 4) シーリング工事
 - ・既存シーリング撤去、バックアップ材再充填、シーリングを新設する。
 - ・防水施工後、立上り等の防水材端部の目地シーリングを行う。
 - ・防水施工後、手摺支柱等の周囲にシーリング（MS-2 10×10）を行う。
 - ・Y4、Y9通りのPC手摺壁の目地、手摺壁と柱間にシーリング打替え（MS-2 20×10）を行う。
- 5) 防水工事
 - ・ジョイント部、目地補強（絶縁テープ・メッシュテープ）を行う。
 - ・ウレタン塗膜防水を施工（平面：防滑仕様）。

■防水改修 凡例

	ウレタン塗膜防水の施工範囲を示す
	PC版間シーリング打替え箇所を（既存撤去、新規）を示す
	柱型・手摺間シーリング打替え箇所を（既存撤去、新規）を示す

工事名称	： 県営上田野球場 防水部分改修工事
図面名称	： 防水改修平面図（2）
縮尺	： 1：100（A3=1：200）
図面番号	： A-14
DATE	： . . .
株式会社 KRC	
長野県長野市稲屋町中央3-33-23 TEL 026-285-7670	
1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号	
1級建築士 第293052号 渡利 真二	

<p>P C段床取り合い</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 	<p>P C段床 平面 (立上り) ジョイント部</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 	<p>現場打ちRC壁~P C段床取り合い (妻面手摺壁))</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 	<p>現場打ちRC壁~P C段床取り合い (階段廻り)</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 
<p>P C段床~手摺支柱取り合い (階段前中段通路)</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 	<p>P C段床・手摺壁 (Y9通り 最上段通路)</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 	<p>P C段床・手摺壁 (Y4通り 中段通路)</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 	
<p>防水・シーリング参考図</p> <p>NON</p>	<p>手摺改修詳細図</p> <p>S = 1 : 1 0</p> 		

■県営上田野球場 防水部分改修工事 概略工事工程表（参考）

[illegible]

工事名称： 県営上田野球場 防水部分改修工事

圖面名稱：概略工事工程表

繪 尺 : NON 圖 號 號 号 : A-17

DATE : . . .

株式会社 KRC

長野県長野市稲里町中央3-33-23 TEL 026-285-7670

1級建築士事務所 長野県知事登録 H-第75251号

1級建築士 第293052号 渡利 真二